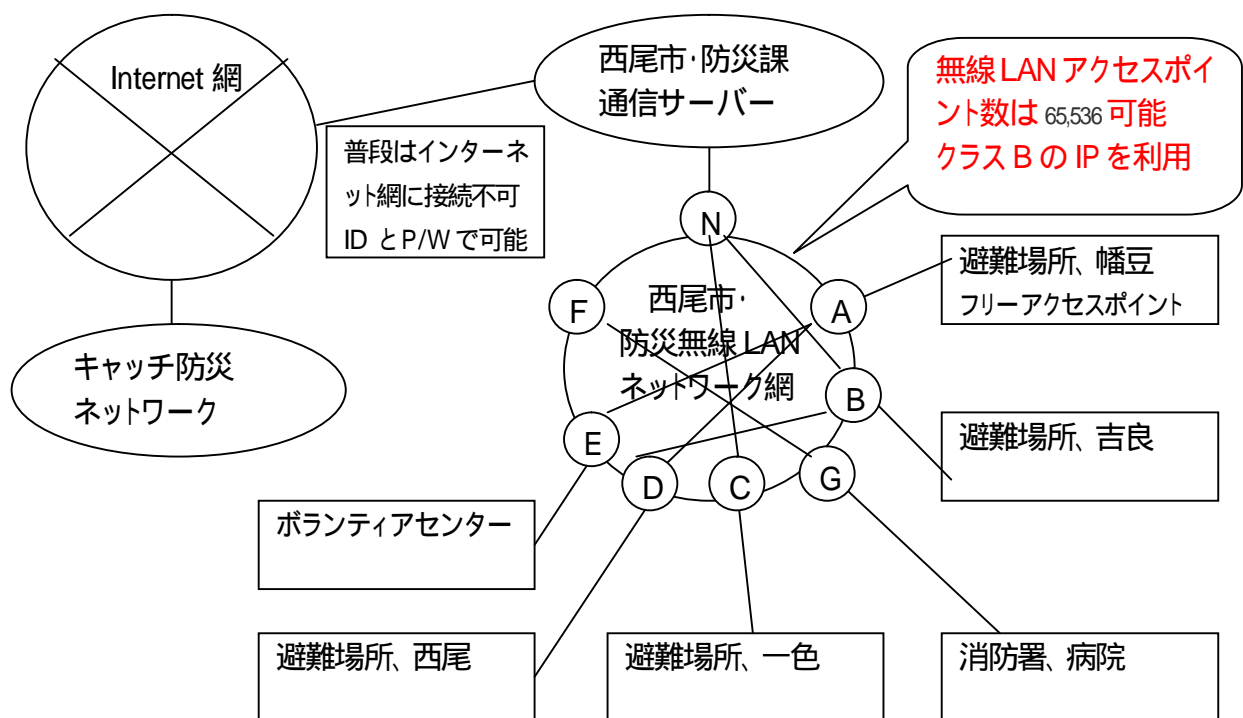


防災(災害時)の通信ネットワーク構築について(提案)

目的: 行政からの伝達事項および各地域からの情報収集を行うことが双方向通信により可能となる
無線従事者、など特定の資格を必要とせず、日頃使い慣れた個人所有のインターネット接続機器を用いることで、より多くのオペレータが利用出来ることがこの提案の目的とするものです。
通信内容も拘束事項が無く、パソコンで利用するデジタルデータも送受可能である為 広範囲に利用可能となる

手法: 最近普及が目覚ましいインターネット接続機器(*1.)を利用し、屋外型無線 LAN で通信を行う。
(*1.) 携帯出来る小型 PC、スマートフォン、タブレット など利用することで通信設備を新たに設ける必要がない
具体的な新設要件: 屋外通信が可能な無線 LAN フリーアクセスポイントの設置をする
通信: 無線 LAN フリーアクセスポイントを適所に設置、各アクセスポイント間を無線 LAN で接続する
フリーアクセスポイントは各地の避難場所や多くの人が集まる場所に設置する。
ネットワーク構築範囲: 西尾市の施設内および屋外も含める全域にわたる範囲で通信が可能



公衆通信である携帯電話の回線と同じ不特定多数の音声通信は行わない
現存する無線連絡網は暫くそのまま併用する

その他の効果: 防災(非常時)以外の利用も可能、観光やイベント時の情報公開が出来る

平成 23 年 6 月

西尾アマチュア無線クラブ、防災ボランティア活動担当 石田隆政
にしおパソコンボランティア・レスキュー 代表 大美俊幸